

LM

LEXUS、新型「LM」を発売

— 安らぎと創造性を提供する、「ラグジュアリームーバー」 —

- 次世代 LEXUS が多様なお客様の選択肢として提案する新たなフラッグシップモデル
- 『素に戻れる移動空間』をコンセプトに乗り心地と静粛性を追求
- 優雅な走りを想起させるエクステリアデザイン
- すべての乗員が自然体で過ごせる、上質で開放的な居住空間
- 「ラグジュアリームーバー」ならではのきめ細やかな心遣いと多彩な装備



LEXUS LM500h (ソニックチタニウム)

LEXUS は、新型「LM」の国内仕様を 10 月 19 日に発表しました。本日よりご注文の受付を開始し、12 月下旬頃の発売を予定しています。

LEXUS は、1989 年の創業以来、常にイノベーションの精神を貫き、お客様に新たな技術や価値を提供することに挑戦し続けています。愛車と共に過ごすライフスタイルを楽しく豊かにしたいという想いのもと、世界中のお客様のニーズにお応えする多様な選択肢を提供してまいります。

初代 LM は主に中国やアジア地域でのショーファードリブン MPV の需要にお応えするために、2020 年に販売を開始。4 座／7 座仕様をご提供し、幅広いお客様にご好評をいただいております。

新型 LM は、近年のラグジュアリーマーケットにおけるお客様の価値観の変化をうけ、車名が意味する「ラグジュアリームーバー」としての価値や存在意義をあらためて見直し、全面刷新。すべての乗員が自然体でくつろげる乗り味と居住空間を作り上げることを目指しました。ドライバーは素直で正確な操縦性などにより気を遣うことなく運転の楽しさを実感でき、乗員はノイズや不快な振動を気にすることなく、車内での時間をゆったりと過ごすことができる快適性と機能性を備えています。

エクステリアデザインは気品のある存在感と空力性能を考慮した、機能的本質と動的性能がスタイリングからも伝わる LEXUS のデザインランゲージに沿ったものとしています。インテリアデザインは、前席周りは運転に集中できる機能性と上質感を兼ね備え、後席はゆったりと過ごせる広さと仕立てのいいシートやトリム、そしてあらゆる時間の過ごし方に対応できるさまざまな装備を用意しています。

<新型 LM の主な特長>

① LEXUS の DNA をさらに進化させた乗り心地と感性に寄り添った静粛性

- ・新 GA-K プラットフォーム採用による素性の刷新と対話のできる走りの実現
- ・従来型比で約 1.5 倍のボディねじり剛性をはじめとする、徹底した体幹強化
- ・乗員の体の動きを徹底的に分析したシート構造による、頭部の揺れ軽減と視線の安定化
- ・LEXUS 初となる、周波数感応バルブ付 AVS と Rear Comfort モードの採用
- ・源音の低減／遮音／吸音の 3 ステップがもたらす“静粛感”

② 機能的本質や動的性能に根差したプロポーションと独自性の追求

- ・独自の存在感と上品な佇まいを持ったエクステリアデザイン
- ・さらに進化した LEXUS の新たなフロントアイデンティティ「スピンドルボディ」
- ・快適性と利便性を細部まで追求した開放的なインテリア
- ・ドライバーが運転に集中できるコックピット

③ 心と身体が整う、細部までこだわったさりげないおもてなしと多彩な装備

- ・快適性を追求したシート装備と操作系
- ・機能性と仕立ての良さを両立した収納や照明各種

④ ショーファードリブンに特化した 4 座仕様

- ・プライバシーの確保と開放感を両立するパーティション
- ・多様な利用シーンを想定した新規開発の 48 インチ大型ワイドディスプレイ
- ・乗員に最適な車内環境を提供するリヤクライメイトコンシェルジュ

⑤ 人間中心の考え方に基づいた最新の予防安全機能

- ・先進の予防安全技術 Lexus Safety System +
- ・快適な移動を支える Lexus Teammate
- ・先進技術による新たな体験価値

<Lexus International Chief Engineer 横尾 貴己>

多様化が進むラグジュアリーセグメントのお客様のニーズにお応えすべく、新型LM開発にあたり私共開発陣が掲げたコンセプトは「素に戻れる移動空間」です。多忙な日々をお過ごしのお客様の為に、周囲の喧騒から解放され心身共にくつろげる、そしてご自身本来の豊かな思考や行動につながる、そんな移動空間の提供を目指しました。一方で、どんな豊かな装備や機能があっても、クルマとしての素性が良くなければ乗員が快適に過ごすことはできません。ショーファードリブンカーとしても使われるLMにおけるLexus Driving Signatureとは何なのか。TAKUMIや開発チームと共にたどり着いた答えは、次世代LEXUSが一貫して取り組んでいる「対話のできる走り」にありました。ドライバーの意図に忠実な走りは、後席の方にも安心感として伝わります。徹底的に鍛えたクルマとしての体幹としなやかな足回り、空力をも味方に付けたデザイン、体の揺れを抑えるシート、上質な仕立ての内装と快適装備の数々、いずれも細部に至るまで込められた開発チームの想いと拘りの結晶です。LEXUSがイチから造り上げた「ラグジュアリームーバー」を、ぜひともご体感ください。

【新型 LM 主要諸元】

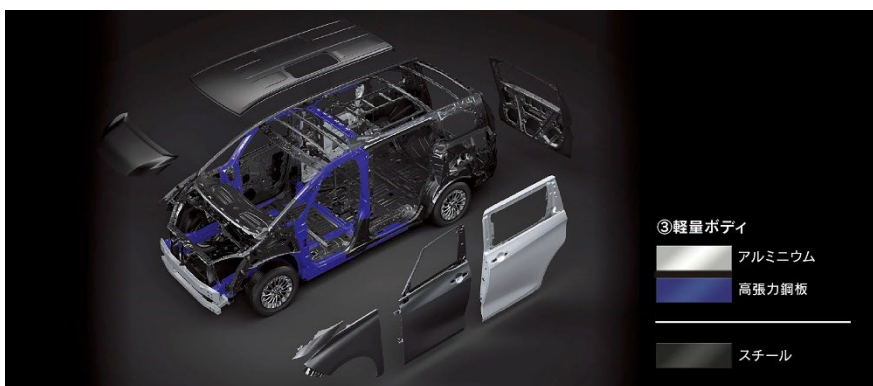
全長	5,125mm
全幅	1,890mm
全高	1,955*1mm
ホイールベース	3,000mm
パワートレイン	2.4L直列4気筒ターボハイブリッドシステム [eAxle]
タイヤサイズ	17/19インチ
車両重量	2,460kg

*1 17インチタイヤ装着車は1,945mm

LEXUSのDNAをさらに進化させた乗り心地と感性に寄り添った静粛性

すべての乗員が快適に過ごせるよう、新たなフラッグシップモデルにふさわしい乗り心地を目指し、新設計のGA-Kプラットフォームを採用。高剛性化や軽量化・慣性質量の低減など次世代LEXUSが一貫して取り組んでいる「素性の刷新」を新型LMでも実践しました。走行中の疲労原因のひとつとなる揺れの軽減や視線の安定化への取り組み、また「心地よく感じる自然な静けさ」という“静粛感”にこだわり、徹底したチューニングで対話のできる走りを実現しました。

- ・ 新型 LM は、スライドドア開口面積が広く剛性確保が難しい MPV のボディ骨格を強化するために、リヤ床下ブレースを採用。また縦方向の骨格となるロッカーにストレート構造を採用し、剛性を確保しました。スライドドア開口部は、クォーターピラー上下の構造を最適化しルーフレインフォースメント/クォーターピラーガセット/ロッカー断面内を通るリインフォースメントを設置。さらにフロントにはラジエーターサポートサイドブレース、リヤサイドメンバーにリヤクォーターブレースを追加し、より雑味の取れたすっきりと奥深い味わいのある走りを実現しました。骨格の接合においては、レーザースクリューウェルディング (LSW) 、短ピッチ打点技術、構造用接着剤を適材適所に使用。高剛性接着剤を使用することで接合剛性を高めつつ、フロアの着座位置に近い部分は高減衰接着剤に置き換えることで高周波域での振動レベルを低減しました。さらに、車両剛性を確保しながら軽量化も追求しました。主要骨格部材にはハイテン材やホットスタンプ材、スライドドアにアルミ材を採用。外板も含め全体で約 30kg の軽量化により、ボディ重量を増やすことなく、従来型比で約 1.5 倍のボディねじり剛性を確保。操縦安定性と乗り心地の向上や NV 性能 (ノイズ/バイブレーション) の低減に大きく寄与しています。

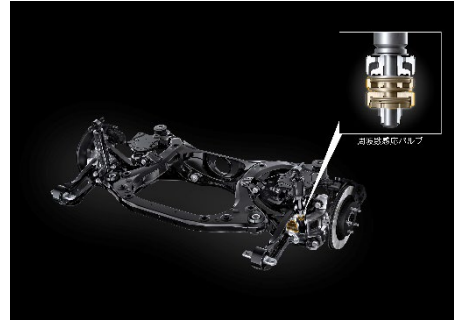


高剛性・軽量ボディ (イメージ)

- ・サスペンションはフロントのマクファーソンストラット式サスペンション、リアのトレーリングアーム式ダブルウィッシュボーンサスペンションの形式を踏襲しつつ全面的に新設計し、ジオメトリーの最適化や稼働部の低摩擦化を実施しました。またアルミ鍛造キャリアの採用や、フロントサスペンションロアアームにハイテン材を使用することで、リニアな操舵応答性とバネ下質量の低減に寄与しています。さらに路面や走行状態に応じて、より瞬時に減衰力の切り替えが可能な、リニアソレノイド式アクチュエーターと周波数感応バルブを併用した「周波数感応バルブ付きAVS」をLEXUS初採用しました。低周波から高周波までの幅広い領域で振動を軽減し、速度を問わず常に上質な乗り心地を提供します。



フロントサスペンション
(周波数感応バルブ付AVS)



リアサスペンション
(周波数感応バルブ付AVS)

- ・Lexus Driving Signatureを進化させるブレーキフィーリングを目指し、前後独立油圧制御により前後回生協調が可能で加圧ユニットを採用。より自然で扱いやすいブレーキフィーリングを実現しました。さらに、加圧ユニットによる前後独立の油圧制御により、ドライバーのブレーキ操作量に応じた前後輪の制動力配分を最適化するブレーキ車両姿勢制御を採用。制動によって前後のタイヤに発生する力を最適に利用することで、減速から旋回においてシームレスに繋がる気持ちよさと高い安心感のある走りに貢献しています。ブレーキキャリアはブラック塗装にLEXUSロゴを施しました。また、後席の快適性を重視したドライブモードセレクト「Rear Comfort」モードをLEXUS初採用。AVSの減衰力特性は後席の乗り心地を優先しつつ、アクセルやブレーキを統合制御することで加減速時の車両姿勢変化がより少なくなるセッティングとしています。さらに停止間際の制動力配分をコントロールするスムーズストップ制御を全車に標準装備。乗員の姿勢変化を抑え、ドライバーの技量に頼らないスムーズな停車を実現します。

- ・静粛性と走り出しの滑らかな転がりを目指し、17インチ/19インチタイヤ&ホイールを新規開発しました。17インチにはノイズリダクションホイールを採用。アウターリム部の中空化により気柱共鳴音を低減し高い静粛性を実現しています。19インチには鍛造ホイールを採用することで、17インチと同等の質量*を実現し、バネ下質量の低減に貢献しています。

*タイヤとホイールの質量を合計した場合



17インチノイズリダクションホイール

- ・ “Natural Quiet” をコンセプトに、音圧レベルだけでなく音色・バランスを重視し「森でくつろぐような心地よさ」「自然な静けさ」を目指しました。ノイズの周波数帯域と発生部位などを解析し、発生するノイズ（源音）を小さくする（低減）／車内への侵入を防ぐ（遮音）／車内のノイズを下げる（吸音）の3ステップで静粛性に取り組みました。

源音の低減では、ロードノイズと風切り音に着目。ロードノイズはタイヤ&ホイールの転がり音低減に加え、発音部位として面積の大きいルーフに高減衰マスチックを採用し振動を低減することで静粛性を確保しています。風切り音はボンネットやピラー周りの段差を小さくするなど細部まで対策を施しました。音や振動の発生源のひとつであるエンジン、振動の伝達増幅の原因となるマウント系は徹底したチューニングを実施。ANC（Active Noise Control）により音響空間のクリーニングも実施しています。

遮音性を高める新たな取り組みとして、発煙装置を使用したスモークテストとCADツールを組み合わせ騒音の侵入経路を明らかにすることで、ボディシール構造の最適化を実施。フロントウィンドウ、フロントクォーター、フロント・リヤのサイドガラスには高周波の風切り音の低減を狙いアコースティックガラスを採用しました。

吸音においては、外部からの音を完全にシャットアウトした無音の空間ではなく、音の適度な反射により空間の広がりを感じさせる工夫を施しました。床下にはフロアカーペットとは別体のフロアサイレンサーを設定。吸音材／遮音材／制振材の分量や厚みをチューニングしそれぞれの部位に最適配置することで、車室内騒音を大幅に低減しながら心地よい静粛感を実現しています。

- ・ 新型LMでは『対話のできる走り』の実現のために、プロドライバーのアドバイスも参考にドライビングポジションにこだわりペダル、ステアリング、シートの位置関係を見直し、従来モデルから大幅に改善しました。

アクセルペダルは足首の動きと一体となるオルガン式を採用し高い操作性を確保。ブレーキペダルはアクセルペダルからの自然な踏み替え操作にこだわった踏面角としています。ステアリングは手首や肘の角度、肩からの距離などを、自然に力の入れやすい位置と角度にしました。

- ・ シート開発では、新たなフラッグシップモデルに相応しい上質で快適な乗車体験を実現すべく、どの座席に座っても心身共に自然体でいられるよう乗員の身体の動きを細かく分析しました。モーションキャプチャーをもとにしたデータ解析と官能評価を繰り返し、乗員の体の動きを徹底的に調査。特に頭部の揺れが疲労に大きく影響することに着目し、座面の体圧分散や体幹の保持を追求しました。身体を腰で支えるシート構造を採用し、骨盤を少し立て気味にすることで快適性の高いシートとしています。

- ・ フロントシートは座面の面圧分布を最適化し、旋回時のGの大小にかかわらず身体をホールド。疲労を軽減する座り心地と、クルマとの対話に集中できる環境を追求しています。リヤシートでは、特性の異なる2種類の衝撃吸収材と柔らかな表皮を使用することで、停車時から走行時まで乗員を優しく包み込みながら支える構造としました。

また路面入力によるシート揺れを抑えるため、クッションフレームとレッグフレームの間に防振ゴムを設定し振動を大幅に低減しました。

アームレストは、形状を弓なり型にすることで自然なひじの高さになるよう配慮し、通常使用時もリクライニング時も無理のない体勢でリラックスできます。

クッションチルト・ランバーサポートが様々な体格の方の好みに合わせた着座姿勢を可能にします。

<トルクフルで余裕のある走りを実現する LM500h 2.4L-T HEV DIRECT4>

(「T24A-FTS」エンジン+Parallel Hybrid+eAxle)

- ・高トルクな 2.4L ターボエンジンと、6 速 AT とモーターを一体化したフロントユニット、リヤに高出力モーター「eAxle」を組み合わせたハイブリッドシステムによる DIRECT4 を採用。余裕のある駆動力とシーンに応じた緻密な四輪駆動制御で、ダイレクトかつトルクフルな走り、と快適な乗り心地を実現しています。



2.4L-T HEV システム

- ・パラレルハイブリッド用に開発した1モーター多段ハイブリッドトランスアクスルを設定。エンジントルクを直接伝達し、エンジン過給遅れ分をモーターで補うことで、よりシームレスかつ気持ちの良い加速フィーリングを実現します。
- ・DIRECT4 の駆動力配分制御は、車輪速センサー、加速度センサー、舵角センサーなどの情報を用いて、前後輪の駆動力配分比を 100:0~20:80 の間で制御し最適な駆動状態を維持。発進加速性、操縦安定性の向上、低燃費に貢献します。発進時は、車両のピッチングを抑え、ダイレクトな加速感が得られるように、60:40~40:60 程度で制御。直進加速時にドライバーの加速意図を判断した場合には、後輪へのトルク配分を増加させ 70:30~40:60 で制御。車両のピッチングを抑えるとともにダイレクトな加速感が得られるよう制御します。コーナリング時には車速、舵角などの情報を用いて、走行状態に合わせた駆動力配分とすることで優れた操縦安定性に寄与します。

パワートレイン性能は以下の通り。

		LM500h
エンジン	型式	T24A-FTS
	種類	2.4L直列4気筒 ターボ
ハイブリッドシステム		Parallel Hybrid
トランスミッション		Direct Shift-6AT
駆動方式		AWD
エンジン 最高出力	kW (PS) /rpm	202 (275) /6000
エンジン 最大トルク	N-m (kgf-m) /rpm	460 (46.9) /2000~3000
モーター (フロント・リヤ) 最高出力	kW (PS)	フロント 64 (87) リヤ 75.9 (103.2)
モーター 最大トルク	N-m (kgf-m)	フロント 292 (29.8) リヤ 168.5 (17.2)
システム 最高出力	kW (PS)	273 (371)
燃費性能*	km/L	13.5
加速	0-100km/h	6.9

*1.WLTCで計測した数値。走行条件によって異なります

機能的本質や動的性能に根差したプロポーションと独自性の追求

新型 LM は、LEXUS のフラッグシップ MPV に相応しい、独自の存在感と上品な佇まいを兼ね備えたエクステリアと、快適で開放的なインテリアを両立すべく、「Dignified Elegance」をキーワードにデザインをつくり込みました。

スタイリングと同等にこだわった、空力や操縦安定性を考慮したボディ形状やレクサスならではの上品な内装は、走りの良さ・乗り心地に直結する重要な要素であり、すべては乗員の快適な移動につながります。

<機能に根差したエクステリアデザイン>

- ・次世代 LEXUS デザインの目指す「機能的本質や動的性能に根差したプロポーションと独自性の追求」を表現したエクステリアデザイン。キャビンの広さを感じさせる、リヤシート付近に最もボリュームを持たせたサイドのスタイリングと、走りの良さ・乗り心地を想起させる前後タイヤの存在感を強調した造形を融合させることで、躍動感がありながら上品で伸びやかな LM 独自のフォルムを実現しました。
- ・サイドデザインでは、ボディ全体でダイナミックな抑揚を表現しながら、ルーフ、ガラスエリア、ロッカー周りは安定感を感じさせる水平基調とし、ショルダーに入ったシャープなエッジと大胆な造形による陰影のコントラストは、サイドビューに豊かな表情をもたらします。
また、A ピラーと D ピラーをブラックアウトしたフローティングルーフとすることで、乗員のプライバシーは守りつつ解放感と抜けの良いフォルムを表現すると共に、低く水平なベルトラインは後席に乗車する方に見晴らしにも配慮しています。
- ・ボディ全体では車両後方への空気の流れを適正化させることを目指し、下記を造形の中に取り入れ機能とデザインを融合させています。
 - ・風切り音の抑制：ガラスとの落差を抑えた低段差 A ピラー、カウルサイド整流板
 - ・Cd 値の低減・直進安定性：フロントバンパーコーナー、ルーフ、D ピラースポイラー、リヤコンビネーションランプの造形
 - ・操縦安定性・乗り心地：ロッカー下端に配した整流フィン、ボディパネルと面一化したベルトモール



空力性能

- ・フロントデザインでは、LEXUS のアイデンティティであるスピンドルボディを更に進化させました。押し出しの強いスピンドル形状をグリルに外板色を採用することでボディと一体でシームレスに表現。ヘッドランプを含めたアッパーの鋭い表情と、サテンメッキを繊細にあしらった見応えある作り込みで、モダンでゆるぎない強さを持ったフロントフェイスを表現しました。
フロントグリルとフード・ヘッドランプ・バンパーの境界の段差を減らし、ボディとより融合した構成とすることで、走行時の空気の流れをボディ上面や側面へスムーズに流す効果によって、空力性能や冷却性能、操縦安定性にも寄与しています。



空力性能

- ・ヘッドランプは、グリル上部のスリットからサイドまで連続する特徴的なラインでスピンドルボディを強調。上段にはターンランプとデイトタイムランニングライトの機能を持った外向きのL字シグネチャーを配置し、更に下段にもL字シグネチャーを配することで、シャープな表情を表現しながら、視認性にも配慮しました。
- ・リヤデザインでは、Dピラーからリヤコンビネーションランプへの流れるようなモーションや、前方へ傾斜したリヤウィンドウにより、LMならではの伸びやかなシルエットを強調しました。LEXUSロゴを配したガーニッシュやバックドアまで回り込んだリヤフェンダーの掘りの深い造形は、リヤビューの立体感、安定感を際立たせています。
- ・リヤコンビネーションランプは次世代 LEXUS のアイコンである「L シェイプー文字シグネチャー」を採用。更に上部に車両の水平軸とワイド感を強調する一文字ランプを配しました。テールランプは太さに変化を持たせながらグラデーション発光を採用し、深みと奥行き感のある表情を持たせました。また、ターンランプやバックアップランプはヒドウンテックの考え方により、造形を崩すことなく点滅・点灯時のみ視認できる位置に配しています。
- ・アルミホイールは、新たなフラッグシップとしての上品さと走りの良さを表現した2種類を設定しました。19インチは鍛造の特徴を活かし、交差したマルチスポークメッシュの精緻なディテールでプレミアム感を表現、17インチはマルチスポークに加えて外周にアイキャッチを施すことで存在感を強調しました。表面にはいずれのサイズもスパッタリング処理を施しています。



19インチホイール



17インチホイール

- ・エクステリアカラーは、ビジネスやフォーマルなど大切なシーンにもふさわしい品格・凛々しさを表現した全4色を設定しました。

<快適性と利便性を両立した開放的なインテリア>

- ・お客様が素に戻れる時間を提供すべく、人間中心の考え方に基づいた精緻な作り込みを行いました。室内高のあるパッケージを生かしながら、広く心地よい空間を水平・垂直を基調としたシームレスなデザインテーマで表現し、リビングのようにつろげる世界観を追求しました。
- ・フロント席では、LEXUSのコックピット思想「Tazuna Concept」を継承しつつ、インストルメントパネルとドアトリムがシームレスにつながるシンプルで大らかなデザインテーマにより、モダンで広がりのある空間を表現しました。縦方向につながるコンソールの空目調パネルの上に、水平基調のインパネが交差する構成とし、前後左右に立体感を感じる開放的なフロント席を実現しました。インストルメントパネルからドアトリムへ繋がるパッドは上質な仕立にもこだわり、金属調加飾を挟み込んだアクセントに加えて端部を折り込みステッチを施すことで、シンプルながらも細部にわたって妥協しない質感を追求しました。
- ・運転に集中できる環境を目指したシンプルなフロント空間と共に、「Tazuna Concept」のテーマであるドライバーが意のままに操れる操作系を目指し、ステアリング周辺に走行系機能を集約。前方の道路から室内へのスムーズな視線移動に配慮し、ヘッドアップディスプレイ、12.3 インチフル液晶メーター、14.1 インチセンターディスプレイを配置しました。



コックピット



12.3 インチフル液晶メーター

- ・リヤ席では、水平垂直のテーマに基づいて表現されたパーティション、ドアトリムなどにより、開放的ながらモダンで落ち着きのある空間を表現しました。内装部品間の段差も極限まで減らすと共に、サイドウィンドウのグラフィックもシンプルな長方形とするなど、インテリアのあらゆる構成要素から乗員にとっての視覚的ノイズを減らし、お客様がリラックスできる空間を追求しました。また、座った瞬間に心身を解放させるような心地よさを目指した、体をゆったり包む大型独立シートを採用、左右独立したガラスルーフは開放感を高めるとともに、左右のシートとシンクロすることで、よりパーソナル感を高めます。天井には、上質且つソフトな質感・触感を持った、ウルトラスエード®を採用し、プレミアムな室内空間を表現しました。さりげないおもてなしを演出するヒドウンテックの考え方で、空調や照明などの各機能は加飾とも融合させながらパーティションとオーバーヘッドコンソールへシンプルに集約。テーブル等のユーティリティは、アームレスト下へ収納するなど、配置の細部までオーナーの所作に配慮しました。
- ・インテリアカラーには、「ソリスホワイト」と「ブラック」を設定。「ソリスホワイト」にはカッパー色のアクセントを加え、華やかさの中にも心地良さが感じられる、モダンプレミアムな世界観を表現しました。「ブラック」は、黒の中にダークグレーを加えて重いイメージを払拭し、ニューフォーマルな世界観を表現しました。

- ・ リヤ席スライドドアトリムには、コントロールパーフォレーションを施した表皮を採用。精緻にグラデーション配置した現代的な柄のパunchングから、レイヤー構成の金属調加飾を透かせることで、先進且つモダンな世界観を表現しました。



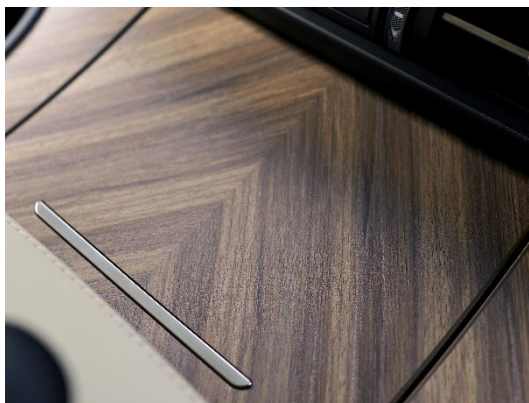
コントロールパーフォレーション

- ・ シートでは、触感、柔らかさにこだわった上質な材料を最適部位に張り分け、シングルステッチとダブルステッチをコーディネート。加飾では金属調糸を透明樹脂でコーティングしたクリアパイピングをシートショルダー部に配すると共に、フロントシートと2列目シートのヘッドレストにはLEXUSロゴのエンボス加工を施しました。

- ・ 加飾では、日本古来より縁起の良い文様とされる「矢羽根」を、モダン柄にアレンジしたヘリンボーン柄杓で再現し、インパネ・フロントコンソール・リヤオーバーヘッドコンソールへ採用。4層の立体印刷技術「Viscotecs™」*によって繊細且つ精緻な表現を行いました。

また、日本古来より陶磁器や家屋の彩色に使われてきた自然素材「べんがら」をステアリング加飾に採用。木目の触感を残した漆黒の黒本杓に、杓目柄を人工的に着色して導管を浮かび上がらせる技法を施しました。

*「Viscotecs™」：セーレン株式会社のデジタルプロダクションシステム



室内加飾「矢羽根」

心と身体が整う、細部までこだわったさりげないおもてなしと多彩な装備

車内での過ごし方はさまざまで、近年ではその用途もより多様化しています。新型 LM は、自宅のリビングルームのようにくつろげる空間や、ビジネスシーンにも対応できる空間など、お客様の多彩なニーズに応えつつ、自然体でいられる室内環境づくりに力点を置いた開発を行ってきました。

- ・運転席に 8way パワーシート、助手席に 4 way パワーシートを採用。表皮はセミアニリン本革とし、温度調整可能なシートヒーターとシートベンチレーションを設定しています。
リヤシートには、オットマン付きパワーシートと頭部を支える大型ヘッドレストを完備。
表皮は、包まれるような安心感と快適な乗り心地を目指し、レクサス最高級本革である L-ANILINE とし上品な質感を演出しました。また、シートヒーターとシートベンチレーションを設定。LEXUS としては初めて、シートヒーターをアームレストとオットマンにも採用しています。アームレスト横にはシート型の操作スイッチを設定、直感的な操作を可能とします。
シートバックとシートクッションにはエアブラダーを内蔵し、大腿部から背中までを押圧するリラクゼーション機能を設定しました。
アームレスト内の格納式テーブルには強度の高いマグネシウム製の天板を採用し、質感の向上や滑り止め／傷つき防止の機能性を持たせた表皮巻きとしています。
- ・リヤシートには脱着可能なタッチ式コントローラータイプのリヤマルチオペレーションパネルを採用。リヤクライメイトコンシェルジュ／シート／オーディオ／照明など後席の各種機能を操作することができます。リヤのセンターコンソールに 2 個装備し、左右席どちらからでも好みの設定が可能です。リクライニング時も体勢を変えず手元で操作できるよう配慮しました。
- ・室内照明は、オーバーヘッドコンソールに配されたリーディングランプやヒドゥンテックの考えに基づく天井照明、さらにデスクランプなど、お客様の利用シーンを想定し様々な照明を設定。フロントドア開閉時には後席の天井照明が点灯しない設定*とし、後席に配慮しています。
*イグニッション ON 時のみ
- ・室内イルミネーションは、足元やドアトリム、リヤのオーバーヘッドコンソールのサイドに配し、車内の造形や素材の美しさを際立たせるだけでなく、リラククスできる空間を演出しています。イルミネーションは 14 色のテーマカラーとお好みに合わせて選べる 50 色のカスタムカラーの計 64 色を用意。それぞれに癒やしやリラククスなどのテーマがあり、乗員の好みの色調を選択することが可能です。
- ・収納は、様々な用途を想定し装備。センターコンソール前方には蓋つきのフロントボックスや、両開きコンソールボックス、オーバーヘッドコンソールに小物入れ、運転席にはチケットホルダーや小物入れなどを設定しています。さらに、ドアトリム等に人数分以上のボトルホルダーを装備しています。
またマルチメディア通信用／充電用の USB 端子 (Type-C) をフロントボックスや、コンソール、シートなどに複数装備。そのほかアクセサリースOCKET、HDMI 端子、AC 電源なども、ドライバーと乗員の利用シーンを想定し車内各所に設定しました。
- ・サンシェードはガラスーフ、スライドドアガラス、リヤクォーターガラスそれぞれに装備し、左右個別開閉と一括開閉を電動でコントロールできます。さらにサイドのガラスシェードは、上から下へ作動する構造を採用し、直射日光を避けながら景色を楽しめます。

ショーファードリブンに特化した4座仕様

- ・リヤ席前方に48インチ大型ワイドディスプレイを備えたパーティションを配置。前後席の車内空間を仕切ることによってパーソナル感とプライバシー性を高めました。パーティション骨格の一部にマグネシウムダイキャストを使用し強度と剛性を確保しながら、トリム全体に吸音材を設定し、透過音低減効果を従来型比で約40%アップしています。

上部には、開放感とプライバシーの確保を考慮した昇降/調光ガラスを設定。前方の景色が見える位置にガラスを配置することで開放感のある空間としつつ、ドライバーと後席の乗員の顔がお互いに見える位置としました。ガラス部分にはアコースティックガラスを使用し、フロントから発生するエンジン音や前席からの音を遮り、後席の静粛性とプライバシー確保にも寄与します。

さらにシーンに応じて、ガラス開閉や調光変更を前後席どちらからでも操作可能としながら、後席には作動ロックのボタンを用意することで後席のプライバシー確保に配慮しています。調光はスイッチ一つで瞬時に変更可能です。

パーティション中央下部には冷蔵庫を設定。一般的な750mlのシャンパンボトルは3本、500mlのペットボトルは6本を入れられる庫内容量*を確保しながら奥行きを薄幅化することで、広い足元空間を確保しています。乗降性に配慮したアシストグリップや傘立て、グローブボックスもパーティションに統合しました。アシストグリップはTAKUMIと共に検討を重ね、乗車時・降車時の握り方にフィットする異形楕円断面の形状とし、表皮裏にソフトパッド層を設定。しっかりと体を支えつつ、やわらかく上品な握り心地を実現しました。

*容器の種類や形状によって収納可能容量は異なります



インテリアカラー：ソリスホワイト

- ・ディスプレイはビジネスミーティングや映像鑑賞など様々な利用シーンを想定し、横長1画面、左右2画面、センター1画面での使用が可能。2つのHDMI端子からの入力やMiracast®接続によって、例えばビジネスシーンでは、それぞれのHDMI端子にPCを接続することで、Web会議画面と資料などを2画面で表示できます。さらに後席にお乗りの方が、最も寛いで画面視聴ができる高さにディスプレイを配置しています。

オーディオにはMark Levinson™* Reference 3D Surround Sound System (23スピーカーシステム)を採用。

スピーカー配置の最適化と音質チューニングにより、奥行き感のある包み込まれるようなサウンド空間を実現しました。

前後席独立モードでコンテンツを視聴している場合、後席優先の音声出力設定とし、後席はスピーカーに加えてヘッドホン*の音声出力も可能です。

*Mark Levinson™はHarman International Industries社の商標です。

*ヘッドホンは車内に装備されていません。



48 インチ大型ワイドディスプレイ

- ・パーティションの上部中央には、乗員と周辺温度*を検知する後席専用の「温熱感 IR マトリクスセンサー」を設定。乗員の顔、胸、大腿、下腿の体の部位を4つに分け温熱感（温かさ／冷たさ）を推定することでエアコンやシートヒーターなどを一括コントロールし、車内を常に快適な温度に保ちます。さらにパーティション左右に電動レジスターを設定。薄型で意匠性を考慮しつつ、フィンに拡散抑制技術を採用することで、効率的に乗員までエアコンの風を届けます。

*窓、トリム、天井の周辺温度を検知

- ・エアコン／シートポジション／サンシェード／照明などを統合制御する LEXUS 初採用の「リヤクライメイトコンシェルジュ」は、乗員に最適な車内環境の実現をサポート。4種類のプリセットモード（Dream/Relax/Focus/Energize）に加え、乗員の好みに応じてカスタマイズできるモードも用意し、より快適な空間を提供します。

<プリセットモード>

Dream : 足を中心に全部位を温める暖かめの空調と明るさを落とした空間で、至福の時を演出。

Relax : 足を中心に全部位を温める暖かめの空調と安らぎを感じる照明で、くつろぎの空間を演出。

Focus : 顔を中心に上半身を冷やす空調と爽やかな照明で、集中しやすい空間を演出。

Energize : シートヒーターのオン／オフを繰り返す温熱刺激と高揚感が高まる照明で、活力がわく空間を演出。

- ・フロントシートの背面薄型化により、後方のパーティションとの空間を確保。パーティションの薄型化と合わせ、さらにドライビングポジションの自由度を確保することで、ドライビングストレスの軽減に寄与し、より安定した運転ができるよう配慮しました。

後席はオットマンの伸縮量を延長しつつ、パーティションとの距離を保つことで余裕のあるスペースを確保。また、LEXUS としては初めて、アームレストとオットマンにもシートヒーターを採用しました。アームレスト内に収まる格納式テーブルはタブレット端末やノート PC を操作できる十分なサイズとしています。

さらにカップホルダーにはイルミネーションライト、足元には陰影イルミネーションを設定し、上質な空間を演出します。

- ・静粛性にこだわったLMでは、外部からの音を完全にシャットアウトするのではなく、音の適度な反射により空間の広がりを感じさせる工夫を施しました。
具体的には、ルーフヘッドライニングの積層構成を見直しあえて非吸音化することにより、心地よい静粛性を実現しています

<先進の予防安全技術 Lexus Safety System +>

LEXUS はモビリティ社会の究極の願い「交通事故死傷者ゼロ」を掲げ、安全技術開発を進めています。世界トップレベルの先進安全技術をより早く開発し、より多くのクルマに普及させていくことが重要という考えのもと、RX に続いて、新型 LM にも Lexus Safety System +を採用しました。運転状況に応じて、適切な操作サポートを行うプロアクティブドライビングアシストや、ドライバーモニターとの連携によるドライバーの運転状況に応じた最適制御など、お客様の安全・安心なドライブにより一層貢献します。

<主な性能向上機能>

- ・プロアクティブドライビングアシスト [PDA*1] : 「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行い、歩行者や自転車、駐車車両に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポート。先行車との車間距離が近いときや、前方カーブに対して自車の速度が速い状況では、緩やかに減速支援します。さらに、信号交差点への接近を検出した時には、ウインカー操作に応じてあらかじめ減速を支援し、右左折時の操作余裕確保に貢献。車線内を走行時には常時ステアリングをアシスト。幅広い運転状況に応じた適切な操作サポートを通じて、お客様の安全安心な運転を支援します。

標準装備のドライバーモニターと連動した以下の機能が、お客様の運転をサポートします。

- ・プリクラッシュセーフティ [PCS*2] : ドライバーの脇見運転等をシステムが検知した場合、早いタイミングでドライバーへ警告。ドライバーの反応時間を確保し、衝突回避や被害軽減をサポートします。
- ・レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）: ドライバーモニターの注意喚起機能が有効にされている時、ドライバーに注意喚起を行うとともに、通常運行時における安全マージンを確保する支援制御を行い、ドライバーが正常状態に復帰したときに、安心して運転を再開できるようにします。また、レーダークルーズコントロールの起動後は、音声認識により車間距離と速度の変更が可能です。
- ・レーンディパーチャーアラート [LDA*3] : ドライバーの脇見運転等をシステムが検知した場合、通常より早いタイミングで警報や車線逸脱抑制を作動。
- ・ドライバー異常時対応システム: レントレーシングアシスト [LTA*4] 制御中に、ドライバーの運転姿勢が大きく崩れた場合等に、システムはドライバーの運転継続が困難と判断し、ハザードランプの点滅など周囲に警告を行いながら緩やかに減速。車線内に停車します。また、停車後にドア解錠やヘルプネット®*5 自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

- ・ドライブレコーダー（前後方）

車載カメラを併用し、内蔵メモリー方式を採用したドライブレコーダーをオプションとしてご用意。車両前方、後方のカメラ映像をメモリー内に常時録画します。各種録画映像は、14 インチディスプレイで再生。すぐに映像内容を確認することができます。映像データをスマートフォンやUSBメモリーに転送し、持ち運びすることも可能*6となり、より安全・安心な運転に寄与します。

- ・周辺車両接近時サポート（録画機能・通報提案機能）

後方車両が非常に接近した場合、ドライバーに告知が行われ、その後必要に応じて、システムからドライバーに警察もしくはヘルプネット®*5への接続など、最適な対処方法をご提案します。また、ドライブレコーダー装着時には、常時記録に加えて「イベント記録とお知らせ」を実施。状況を自動録画し、専用記録領域へ保存されるので上書きされにくくなります。

- ・後方車両への接近警報

追突の可能性が高い後続車に対し、ハザードランプを高速点滅させて注意喚起します。自車両と同一レーンを走行する後続車をブラインドスポットモニター [BSM] の後側方ミリ波レーダーにより検知し、後続車との距離、相対速度、方向等から追突の可能性を判断します。追突される可能性が高い場合にハザードランプを約2秒間高速点滅させ、後続車に注意喚起します。

- ・セカンダリーコリジョンブレーキ（停車中後突対応）

自車両が停車中、ブラインドスポットモニター [BSM] の後側方ミリ波レーダーで後方車両を検知し、追突される可能性が非常に高いとシステムが判断すると、自車のブレーキを作動させることで、その後追突された場合に自車両の速度を減速します。自車走行中に前突・側突された後にブレーキを作動させる従来のセカンダリーコリジョンブレーキに対して、停車中の場合にも後側方ミリ波レーダーを使用することで新たに後突に対応するとともに、衝突前からブレーキを作動。より早期での減速が可能です。

<快適な移動を支える Lexus Teammate >

高度運転支援技術「Lexus Teammate」*7の機能「アドバンスドライブ（渋滞時支援）」と、「アドバンスパーク（リモート機能付）」を採用しました。

- ・アドバンスドライブ（渋滞時支援）の採用

自動車専用道路での運転において、渋滞時（0km/h～約40km/h）レーダークルーズコントロール及びレーントレーシングアシストの作動中に、ドライバーが前を向いているなど一定の条件を満たすとシステムが作動。認知、判断、操作を支援*8することで、ドライバーは渋滞時の疲労軽減が可能となり、より周囲に注意を払った運転が可能になります。

- ・アドバンスパーク（リモート機能付）

並列駐車時の支援を拡大。バック駐車に加え、前向き駐車に対応し、車内からの操作で前向き／バック出庫が可能となりました。また、HEV／PHEVモデルにはリモート機能を採用。スマートキー携帯時に、車外から専用アプリをインストールしたスマートフォンを操作することで、駐車および出庫が可能なりリモート機能を採用。お子様やご高齢の方を広い場所で乗り降りさせてあげたい時やトランクから荷物を取り出す際など駐車時での使い勝手を向上しています。

＜先進技術による新たな体験価値＞

新型 LM にも以下の先進技術機能を採用しました。

- ・ OTA*⁹ アップデートにより、常に最新のソフトウェアに更新可能。購入後もクルマに新たな機能が追加されるとともに性能が向上することで、最新の運転支援技術を備えたより安全・安心なクルマへ進化していきます。
- ・ フロントドアにイーჯクローザーを組み合わせた「e-ラッチシステム」をレクサス初採用。ドアを閉める際の使い勝手の向上と静かでスムーズな操作性を実現しました。そして、後方からの自転車を含む接近車両を検知し、通知を行うとともにドア開放をキャンセルする機能を搭載した、安心降車アシスト（ドアオープン制御付） [SEA*¹⁰] をフロントドア、スライドドアの両方に採用しています。
- ・ 専用のスマートフォンアプリをインストールすることで、この機能を有する車両に対してスマートフォンをデジタルキーとして使用可能となります。スマートフォンを携帯していれば画面操作なしでドアのロック、アンロック、エンジンスタートができ、所有するデジタルキーに対応した車が複数ある場合でも 1 台のスマートフォンだけで操作できます。スマートフォン間でデジタルキーの受け渡しが可能なため、家族や友人間で離れた場所での車両の貸し借りも容易に行えます。

*1.PDA= Proactive Driving Assist

*2.PCS= Pre-Collision System

*3.LDA= Lane Departure Alert

*4.LTA= Lane Tracing Assist

*5.「ヘルプネット®」は日本緊急通報サービスの商標です

*6.スマホへの転送・再生にはスマートフォンアプリ「My Drive Recorder Viewer」のインストールが必要です

*7.人とクルマが気持ちの通った仲間のように、お互いを高め合い共に走るというトヨタ自動車独自の自動運転の考え方
「Mobility Teammate Concept」に基づいて開発

*8.アドバンスドドライブ（渋滞時支援）は自動で運転するシステムではありません。システムを過信せず、ドライバーは常に自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作ができるよう備えてください

*9.Over The Air

*10.Safe Exit Assist

＜先進性と利便性を高めたマルチメディアシステム＞

人間中心の考え方にに基づき、NXから採用している利便性を向上させる機能を新型 LMIにも採用。直感的な使いやすさを追求した最新のマルチメディアシステムを採用しました。また、G-Link*機能により、お客様の日常使いに即したサービスを提供。また OTA ソフトウェアアップデートを行うことで、予防安全装備や先進技術の性能を向上し、お客様のライフスタイルに寄り添っていきます。

- ・直感的な使いやすさを追求した最新のマルチメディアシステムを採用。各種メニューの選択スイッチを運転席側に常時アイコンで表示することで優れたアクセス性を実現するとともに、画面全体のレイアウトも情報の粒度に応じて表示エリアを分け、ナビや音楽、車両設定などの操作フローを統一し使いやすさに拘りました。さらに使用頻度の高い機能を簡単に呼び出す操作が可能で、利便性が向上したほか、マップエリアとエアコンエリアを使用ニーズや好みに応じて拡大／縮小できる機能も搭載しています。
- ・クラウド上の地図情報を活用し、交通情報や駐車場の空き情報をリアルタイムで取得するコネクティッドナビを採用。G-Link*1ご契約中は常に最新の地図データをご利用いただけます*2。さらに、14インチナビでは従来の車載ナビとコネクティッドナビを組み合わせたハイブリッド型のナビゲーションを採用しています。
- ・最新の音声認識機能は、ステアリングのトークスイッチ操作による起動に加え、ディスプレイのマイクアイコン操作や音声による起動を可能としました。あらかじめ設定された起動ワード（例：Hey Lexus!など）を発話することで、スイッチ操作や再生中の音楽停止をすることなく、音声認識機能の起動が可能です。さらにクルマと会話するような自然な発話での操作にも対応しています。
- ・iPhone*3や Android*4デバイスの専用機能を車載機ディスプレイにて使用する、Apple CarPlay*3、Android Auto*4を設定しました。Apple CarPlayは、従来のUSB接続に加え、Wi-Fiによる無線接続に対応しています。
- ・14インチナビでは、DCMを活用したインターネット接続により、Webサイト（ニュースやブログ、ストリーミング音楽、YouTube*4動画など）を閲覧することができるWebブラウザ機能*5を設定しました。
- ・個人設定を車両に登録することができる「マイセッティング機能」では、従来の車両設定（ドライビングポジション、イルミネーションなど）に加え、ナビやオーディオなどのマルチメディアの設定にも対応しました。スマートキーだけでなく、デジタルキーやBluetooth機器（スマートフォンなど）でもドライバーの特定が可能になります。また、G-Link*1ご契約中は、マルチメディア設定はデータセンターに格納され、別の車両でも利用することができます。
- ・ユーザーの好みに合わせて、ナビ画面のカラーと字体を5種類のテーマから選択することが可能です。
- ・レクサスプレミアムサウンドシステムでは、Mark LevinsonTM*1 Reference 3D Surround Sound Systemを、23スピーカー設定。スピーカー配置の最適化と音質チューニングをすることで、奥行き感のある包み込まれるようなサウンド空間を実現しました。
また、レクサスとしては初めて、前席と後席で共通のコンテンツを視聴できる連動モードと、異なるコンテンツを視聴できる独立モードを設定。独立モードでは、前席スピーカー・後席スピーカーから異なる音声出力ができ、別々のコンテンツを楽しむことができます。さらに、連動モードではハイレゾ音源の再生にも対応しています。

<安心と快適さを追求したG-Link*1>

- ・「My LEXUS」により、スマートフォンでクルマの燃料残量や走行距離の確認が可能。さらに乗車前にエアコンを起動させておけるリモートエアコン、充電・給電状況の確認ができる充電管理などのサービスをご利用いただけます。
- ・「マイカー始動ロック」では、「My LEXUS」からの操作により任意の期間において車のエンジンを始動できなくすることが可能です。夜間や長期の旅行・出張等の際にご利用いただくことで、車を使わない時間のセキュリティを高めることができます。

*1.「G-Link」は東京ガス株式会社の商標です。使用許諾を受けて使用しています

*2.G-Linkを継続ご契約されないお客様は、3年経過後、G-Link契約をご継続されないお客様においては、地図データを全地図更新で更新する必要があります

*3.Apple、Apple CarPlay、iPhoneはApple Inc.の商標です

iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています

*4.Android™、Android Auto™、YouTubeは、Google LLCの商標です

*5.「車内Wi-Fi」のお申し込みが必要です

*6.マークレビンソン、Mark Levinsonは、ハーマンインターナショナルインダストリーズ社の商標です

【LM500h メーカー希望小売価格】

(単位：円)

		エンジン	トランスミッション	駆動	価格* (10%消費税込み)
LM500h	"EXECUTIVE"	T24A-FTS	Direct Shift-6AT	AWD	20,000,000

*北海道地区のみ価格が異なります。リサイクル料金は含まれません

以上